活動報告

大名庭園サミット金沢大会
－交流委員会－

平成二十七年十一月十九日～二十日、大名庭園民間交流協議会の交流会、大名庭園サミットが兼六園（石川県金沢市）で開催されました。十回目となる今回、当会からは三十三名と今までにない参加者がありました。

大会テーマは「大名庭園の価値を伝えよう」で、十九日午後、石川県立音楽堂を会場に講演とパネルディスカッションが行われました。最初に、進士五十八（しんじいそや）東京農大名誉教授（同協議会顧問）の「大名庭園の価値と活用～庭園からのふるさと創造～」と題した基調講演が行われました。進士氏は「大名庭園は、それぞれ実用性と美しさ、地域らしさを持ち個性がある。大名庭園の集まりは多様な個性の集合体で、大きく見ればそれが地球の持続性を支えるものとなっている。大名庭園を応用した大きな規模の町づくり『緑と農の町づくり』を実践しよう」と呼びかけられました。

進士顧問の基調講演

パネルディスカッション「大名庭園の価値を伝えるために」は各団体が、各庭園の見所、その作庭思想や表現技術、復元整備状況、価値を伝える工夫等を発表しました。本会からは、見所として①梅園、②好文亭を取り上げて湊会長が報告しました。それぞれの団体が金沢城兼六園研究会の手本にならって報告したため、まとまりのあるディスカッションができました。

大会宣言では、「大名庭園の価値」を伝える活動をより力強く進めることを決意して、「（一）平易な読本を作成する／（二）管理者と協議を重ね地域独自のものにする／（三）大名庭園の価値を伝えるガイド活動・子どもふるさと教育について工夫する」の三点を今後具体的に推進していくことが述べられました。

発言する湊会長

その後会場を移して交流懇親会。西茶屋芸妓の踊りで幕を開け地元食材料理に舌鼓を打ち、地酒飲み放題で盛り上がって他団体との親交を深めました。

今年は根岸副会長（水戸黄門漫遊一座）が黄門さまを演じ、歓待されていました。

翌二十日はエクスカーションで参加者は希望したコースを主催団体と地元ガイドさんの案内によって観光しました。

参加者からは、次のような感想が寄せられました。「誇りとする大名庭園を学び、伝えるという基本に戻り、お祭り騒ぎで終わらせまいとする意気込みを感じた。」、「参加しまして一番感じたこと、それは皆さんが『楽しんでいる』ことです。皆さんが行動する原動力、それは『楽しさ』なんですね。」

根岸副会長の黄門さま

大会に先んじて十一月七日に事前学習会を当会顧問久野勝弥氏を講師に開きました。また、平成二十八年一月十五日に反省会を開きました。

今年度の活動計画

通常総会・総会記念講演会

平成二十八年度の通常総会および総会記念講演会を開催します。

日時　平成二十八年四月二十一日
　　午後一時三〇分～四時
場所　茨城県水戸生涯学習センター
　　大講座室（県三の丸庁舎三階）

総会では、二年に一度の役員改選が行われます。また、記念講演では、水戸市教育委員会歴史文化財課の関口慶久氏に次の演題で話していただきます。

「地域遺産を活かす
　―世界遺産を目指す学問の府・水戸―」

『偕楽園なんでも百科改訂版』の普及

『偕楽園なんでも百科』は、桜まつり、つつじ祭りの時期や日本遺産の弘道館を訪ねる観光客に喜んでいただきましたが、これからは地元の住民に普及することが大事になってきます。

偕楽園の魅力満載のこの本を案内書として、偕楽園の多様な姿を知ってもらい、楽しんでもらう。さまざまな機会にいろんな人々に地道に薦めていきましょう。

新緑の沢渡川を歩こう
－偕楽園公園魅力発信プロジェクト－

展示とワークショップを開催した七団体は、偕楽園公園の魅力を共感し合い、さらに新たな魅力創出のために活動し発信する取組を「偕楽園公園魅力発信プロジェクト」として企画することとなりました。

日時　平成二十八年四月三十日（土）
　　九時三〇分～十二時　小雨決行
集合場所　偕楽園公園センター玄関
参加費一〇〇円（保険料）先着三〇名

東町運動公園から見た沢渡川緑地

沢渡川緑地は、北は東町運動公園と茨城県立歴史館、南は常磐大学と桜ケ丘アパートにはさまれた約一九ヘクタールの谷間で、新緑のころは主に湿地の動植物が見られることでしょう。

沢渡川緑地は沢渡川の付替工事が予定されています。また東町運動公園の改修工事と、二〇一九年の国民体育大会開催の影響が予想されます。現状を観察して今後のあり方を考えたいと思います。

展示会　偕楽園公園の魅力発信
－七団体の活動視点からのメッセージ
－偕楽園公園魅力発信プロジェクト－

今年度も七団体による展示会を開催しますが、期間が一週間に短縮されます。

期日　五月十六日（月）～二十二日（日）
会場　偕楽園公園センター展示室
　五月二十一日（土）　木の実工作
　　クイズスタンプラリー
　五月二十二日（日）　新緑の偕楽園散策
　両日とも拙誠会による「茶の湯を楽しむ」を実施します（場所未定）。

詳細は、後日チラシとホームページでお知らせします。

「弘道館　親と子の論語塾」第八期
－論語委員会－

今年度も、今まで通り毎月第一土曜日に安岡定子先生を迎えて開催します。会場は春～秋が弘道館、冬が茨城県水戸生涯学習センター講座室です。今年度は十一月まで弘道館で行います。

・四月二日、五月七日、六月四日、七月二日、八月六日、九月三日、十月一日、十一月五日、　弘道館至善堂
十二月三日、一月七日、二月四日、三月四日、茨城県水戸生涯学者センター講座室（茨城県三の丸庁舎三階）
・時間十時三〇分～十一時三〇分

詳細はホームページをご覧ください。

大名庭園サミット熊本大会
－交流委員会－

第十一回目となる今年度の大名庭園民間交流会は、新加盟の「NPO法人ふるさとの夢と文化を育てる会」が事務局となって、熊本県の水前寺成趣園（すいぜんじじょうじゅえん）で行われます。

・大会テーマ　未定
・期日　未定（十一月二十四日前後の見込）
・場所　水前寺成趣園（熊本県熊本市）

確定したらホームページでお知らせいたします。